

# PROGRAM NOTE

## 南米ふれあいの旅 <HCJBリスナーをたずねて・第四弾>

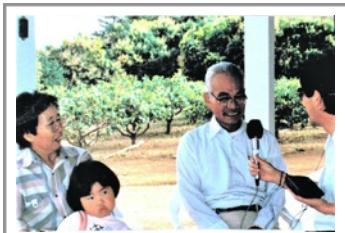
**日本が真夏で暑いときは、ブラジルは真冬で寒いときです。**

1995年の「南米ふれあいの旅」はブラジル南部の大都市サンパウロに着いたときは朝晩はしんしんと冷えました。そこから一気に赤道に近いアマゾンに飛ぶと、そこは真夏の太陽がぎらぎらと照りつけていました。さすが日本の25倍もある大国ブラジルです。空港には中田宣教師がフォルクスワーゲンの車を運転して迎えにきてくれましたが、クーラーがないので乗った途端に体中から汗が吹き出していました。我慢できなくて、失礼して車の最後尾で夏服に着替えさせてもらいました。今月は、中田智之宣教師の活躍ぶりや世界の大河アマゾンの川下り、アマゾン開拓を手がけた日系移住者の方たちとのインタビューをお聞きいただきます。

ブラジルの首都ブラジリアでは、首都圏の住民の台所に野菜を提供する岡原幸男さんをたずねました。ちょうど結婚する息子さんのための新宅の定礎式のお祝いがひらかれています。乗せてもらった車の燃料は

ガソリンではなく、アルコールだということでした。ブラジリアで単身宣教師として献身的な働きをつづけておられる二宮睦子牧師にも教会の2階の居間でインタビューさせてもらいました。

アマゾン地区で最初に「アンデスの声」をキャッチされたのは野澤幸助さんでした。すぐに周辺の日本人移住者の方々に放送を知らせてくださったのですが、その頃の様子を手紙で次のように書いておられます。



「アンデスの声」との出会いは、ずいぶん昔ですので、記憶も定かではありません。1960年代にアマゾン第3次入植者があり、そのときにソニー短波受信機をみせてもらい、それを借りて使わ

せてもらい番組を聞いたのが最初でした。その頃の私は受信機など持てない貧乏入植者でした。着の身着のままの状態で入植し、やっこさで野菜がすこし採れ出した頃でした。まず、原生林の伐採、そのあとは山焼きです。その朝には指導員の言葉に従ってみんなで火をつけます。夜露がやっと乾いた時間なので地面はまだ湿っています。私が風上に立って点々と火をつけていくと、火は勢いよく轟々と音を立てて燃え広がっていきます。大木の幹から地面の土までも色が変わるほどに燃えて尽きてしまい大成功でした。ほかの入植者と協力しながら2反、3反と「寄せ焼き」をし、その後に試験的に米を撒きました。しかし、残念ながらうまく育たず収穫は三分作程度でがっかりでした。そんななか、人様のラジオを借りてでしたが、日本語放送をキャッチするのが心の支えとなっていました。1967年には、アマゾン河口のマナウス市が自由貿易港に指定され、輸入税免除になった外国製品目当てにブラジル南部の都市からも買い物客がどっと押し寄せました。マナウスでは工業団地を開発し、組立工場を建設して、電気製品を安く販売するようになりました。その時に長男が私たちのために初めての給料で買ったくれたのが現地組立てのナショナル短波受信機第一号でした。こうして、はじめて自分のラジオを手にすることことができたのです。その後、長男は流行のオーディオセットに凝り、彼のラジオを私に払い下げてくれたので、それを朝に夕に愛用しています。古いのは乾電池6本でしたが、今度は8本で電源でもOKです。音質がいいので楽しんでいます。

(ブラジル 野澤幸助)

「アンデスの声」のリスナーから寄せられた詩（1989年）をご紹介します。

月明かり江を照らせばさすらいの消えた明るき旅路の未来  
 大江の水位昇れば雨季近し雨はアンデス降り下り居り  
 アンデスは北斗七星南十字左右に見上げる地球の峠  
 アンデスの声の靈波は鳩となり西へ南へ天がけりゆく  
 琴線の響く夕べはたのしくてダイヤル握り遠耳かたむく  
 さし昇る湖上の朝日さわやかに福音の音づれ周囲にみつ  
 東からアンデスの声聞こえくる朝日と共に廻りくるのか  
 アンデスを越えて流れてアマゾンをくだるしづくよ命の糧  
 マウエス湖霞の果てに過ぎし日を岸辺に立ちて神と語らう  
 あこがれに見た高原の国キトひと夜楽しき夢にさまよう

(ブラジル 尾崎貞良)



アマゾンのオニバス

夕しぐれ過ぎし静寂に湧く如くさくらさくらの美しその曲  
 この空もまたこの土も続きいる高原の街キト想ほゆ  
 ささやかなる楽しみなるや家族等とタげの膳にラジオを据えて

(ブラジル 設楽昭五)

年老いてくすぶるばかりの人生にアンデス越えて風吹き来る  
 お便りの交換が交歓となるこころのかけ橋アンデスの声  
 いまだ見ぬピチンチャの峰もあざやかに日毎聞くやアンデスの声  
 アンデスの声聞き終えて今日もまた心おきなく寝室に入る

(アルゼンチン 森 直吉)



『サタデー・トーク』

きき手 尾崎一夫

毎週土曜日放送

9月 1日	南米	マナウス 中田智之宣教師
9月 8日	ふれ	現地録音 大河アマゾンの川下り
9月15日	あい	マナウス 錦戸理平・東海林善之進
9月22日	の旅	マナウス 竹田靖視・野澤幸助 ブラジリア岡原幸男
9月29日		ブラジリア二宮睦子宣教師

放送後の番組は、ホームページ (<http://japanese.hcjb.org>) のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。 (mp3形式)

放送時間：日本時間午前7時半～8時

(米国アリゾナ制作／オーストラリア送信)

放送周波数： 15525kHz 19mb

『バイブル・トーク』

東京淀橋教会 峯野龍弘主管牧師

毎週日曜日放送

9月 2日	人生の道しるべーソロモンの知恵の書 箴言3章 (1)
9月 9日	人生の道しるべーソロモンの知恵の書 箴言3章 (2)
9月16日	リスナーからの「お便り交換」の時間 淀橋教会収録
9月23日	人生の道しるべーソロモンの知恵の書 箴言3章 (3)
9月30日	人生の道しるべーソロモンの知恵の書 箴言25章